【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【公開番号】特開2009-45795(P2009-45795A)
【公開日】平成21年3月5日(2009.3.5)
【年通号数】公開・登録公報2009-009
【出願番号】特願2007-213011(P2007-213011)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　2/165　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　3/04　１０２Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成22年2月2日(2010.2.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１４】
前記吐出ヘッドは、複数のヘッドブロックが前記主走査方向に沿って並べられた構造を有するとともに、前記ヘッドブロックのそれぞれに前記内部圧力可変手段を具備し、
前記内部圧力制御手段は、前記液体貯留部材が直下に位置するヘッドブロックから液体を供給するように、各ヘッドブロックの内部圧力可変手段を制御することを特徴とする請求項１０に記載の液体吐出装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１１】
また、ヘッド５０内のインク（圧力室５２内）に気泡が混入した場合、圧電素子５８が動作してもノズルからインクを吐出させることができなくなる。このような場合にはヘッド５０にキャップ６４を当て、吸引ポンプ６５で圧力室５２内のインク（気泡が混入したインク）を吸引により除去し、吸引除去したインクを回収タンク６８へ送液する。